

令和3年10月27日付【日本下水道新聞】

下水道関係団体の提言・メッセージ

＜サステナブル下水道を構築＞

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会

サステナブル下水道を構築



会長 村上 雅亮

国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、世界の気温上昇のスピードが速まっていると警告しています。温室効果ガスの削減と気候変動に伴う災害対策は待ったなしの状況です。下水道は都市の公衆衛生と環境を守る基幹的インフラですが、同時に社会のサステナビリティに必要な環境保全も強く求められます。

下水道は大量に電力を消費する事業である一方、再生可能エネルギーを創出する高いポテンシャルも持っています。省エネを推進するとともに下水道の資源価値を積極的に活用していく必要があります。またこれらの取組みは、施設老朽化対策、防災・減災対策、デジタル化と一体で推進し、事業効率を高める必要があります。

ポストコロナの新しい時代のサステナブル下水道の構築に向けて、取組みの強化と予算確保を強く要望いたします。